

平成19年度 追跡評価調書

機関名 アイヌ民族文化研究センター

課題番号	ア文研一般1903	研究成果の活用状況・公表状況	評価
研究責任者	古原 敏弘	<p>○成果の活用状況</p> <p>判明した内容をデータ化し、時代別、地域別の索引をつけ、久保寺逸彦氏の研究の足跡の裏付けの参考資料としている。撮影地域の郷土史研究やアイヌ文化研究の基礎資料としているほか、同時代や同地域を撮影した他の写真資料の比較資料として活用されている。</p>	<p>【自己評価】 【説明】</p> <p>2千点もの写真資料を、系統的かつ多角的に分析・整理・データ化した調査研究であり、映像記録が少ない時代におけるアイヌ社会の変遷をみていく上で貴重な基礎資料として、高い評価を受けている</p>
研究担当者	古原 敏弘		
研究課題名	「久保寺逸彦文庫」中の写真資料に見るアイヌ社会の変遷に関する調査研究		
研究課題の概要	<p>○事業区分 一般試験</p> <p>○研究期間 平成14～16年度</p> <p>○全体所要額（一財） 566（千円）</p> <p>○共同研究機関（協力機関） なし</p> <p>○研究成果の概要 アイヌ文化研究の第一人者である久保寺逸彦氏が撮影した約2,000点の貴重な写真資料の撮影内容（撮影時期、撮影地、人物）を分析し、時代ごと、地域ごとの差を明らかにした。</p>		
事後評価の結果	<p>○整理番号（1）</p> <p>（17）年度事後評価結果</p> <p>【自己評価】 A・B・C 【総合評価】 A・B・C</p>	<p>○成果の公表状況</p> <p>写真資料1点ごとに、撮影日時、撮影地、撮影内容を整理したデータを付したカードを作成し、閲覧に供している。</p>	<p>【総合評価】 【説明】</p>